

4

室内装備品の使いかた

• エアコン

- 吹き出し口の調整 4- 2
- 吹き出し口表示と使用目的 4- 3
- マニュアルエアコン 4- 4

• オーディオシステム

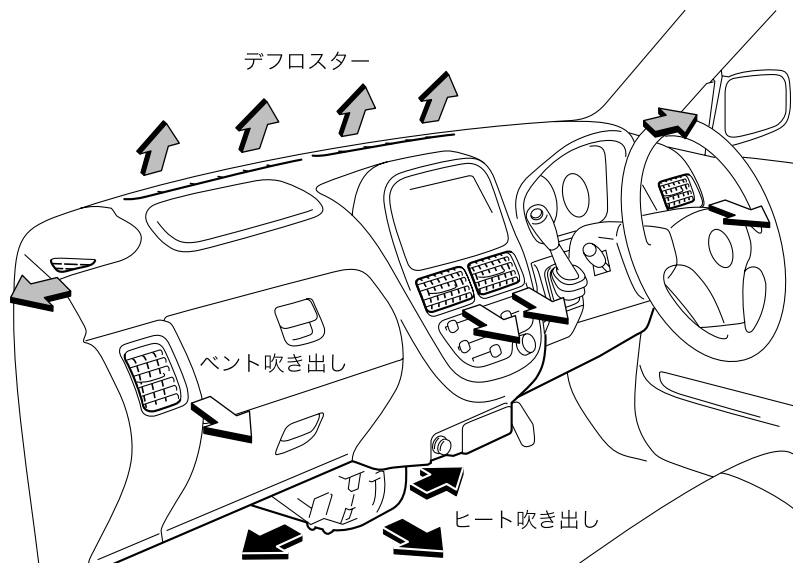
- アンテナ 4- 8
- カセットテープについて 4- 8
- CDについて 4- 9
- AM電子チューナー 4- 10
- AM/FM電子チューナー・カセットデッキ 4- 12
- AM/FMマルチ電子チューナー・CDプレーヤー 4- 16

• 室内装備

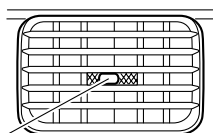
- シガーライター 4- 22
- 灰皿 4- 23
- グローブボックス 4- 23
- カップホルダー 4- 24
- 小物入れ 4- 24
- インパネマルチボックス 4- 25
- サンバイザー 4- 25
- カーゴフック 4- 26
- 室内灯 4- 27

エアコン

吹き出し口の調整



吹き出し口



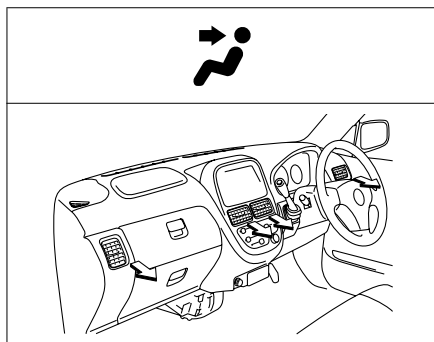
ノブを左右に動かして左右の風向きを調整します

吹き出し口全体を上下にし動かして上下の風向きを調整します。

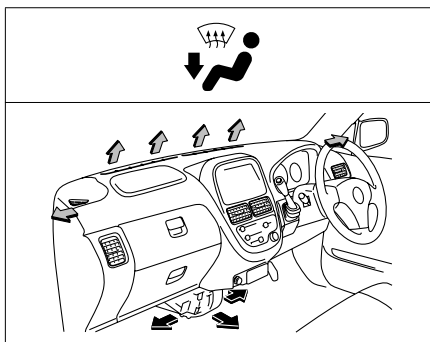
吹き出し口表示と使用目的

使用目的に合わせて吹き出し口を選択してください。

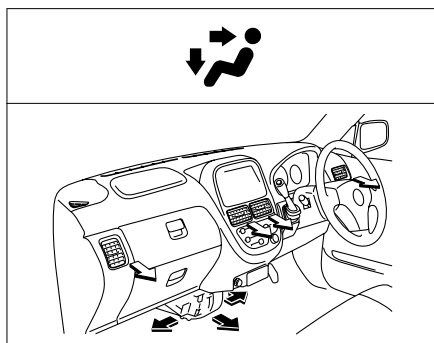
●上半身に送風したいとき



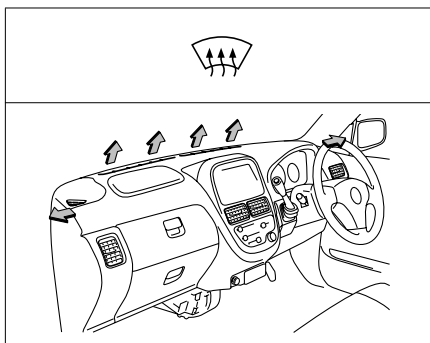
●足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



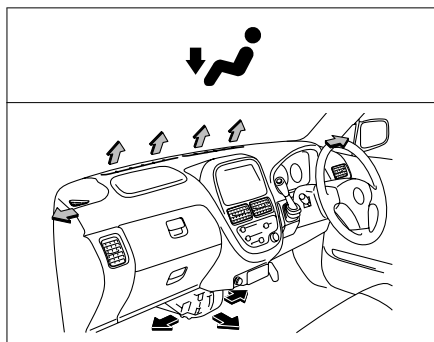
●上半身と足元に送風したいとき



●窓ガラスの曇りを取りたいとき



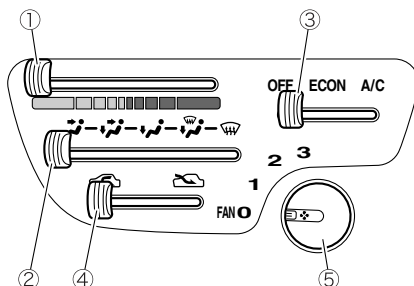
●足元に送風したいとき



※フロントガラスに少し風を送ります。

マニュアルエアコン

■操作パネルの使いかた



①温度調整レバー

送風温度を調整します。

右に動かすと送風温度が高くなります。
無段階に温度の選択ができます。

②吹き出し口切り替えレバー

使用目的に合わせて吹き出し口を切り替えます。(4-3ページ参照)

③エアコンスイッチ

エンジンをかけているとき、風量調整ダイヤルが「0」以外のときスイッチを「ECON」または「A/C」にするとエアコン（冷房／除湿機能）が作動します。スイッチを「OFF」するか、風量調整ダイヤルを「0」にすると止まります。

●ECONスイッチ

ECONの場合、コンプレッサの作動時間をコントロールして省エネ運転になります。とくに春先等の使用をお奨めします。

⚠ アドバイス

- 次の場合、エアコンは作動しません。
 - ・ 室内の温度が低いとき
 - ・ 外気温度が低いとき
 - ・ 急な坂道を登っているとき
 - ・ 急加速中
- 冷房中に吹き出し口から白煙が出ているように見えることがあります。これは湿度の高い空気が急激に冷やされて起こる現象で異常ではありません。
- 停車中の冷房効果を上げるためアイドリング回転数が高くなります。i-CVT車はクリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。
- エアコンは各部を潤滑するため月に2、3回程度作動させてください。
- 冷えない場合には冷媒不足も考えられますのでスバル販売店で点検を受けてください。

④内外気切り替えレバー

レバーを右側に動かすと外気導入になり左側に動かすと内気循環になります。



注意

内気循環は必要なときだけ使い、通常は外気導入を使用してください。内気循環で長時間使用すると、排気管に腐食や損傷による穴や亀裂がある場合、排気ガスによる一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

また、長時間内気循環にするとガラスが曇りやすくなります。

⑤風量調整ダイヤル

風の強さを3段階に調整できます。数字が大きくなるほど強くなり、「0」では止まります。

■エアコンの使いかた

	② 吹き出し口 切り替え	⑤ 風量調整	③ エアコン ON・OFF	① 温度調整	④ 内外気 切り替え	アドバイス
冷房		希望位置	ON (ECON)	希望位置 (中間より左側)		<ul style="list-style-type: none"> 早く冷やしたいときは④を内気循環にしてください 冷房効果が外気導入に比べて向上します
暖房		希望位置	ON (ECON) または OFF	希望位置 (中間より右側)		<ul style="list-style-type: none"> ウインドウガラスにも少し送風されますが、これはウインドウガラスの曇りを防止するためのものです
除湿暖房		希望位置	ON	希望位置 (中間)		<ul style="list-style-type: none"> 温度調整レバーで室内温度を調整してください 内気循環ではエアコン作動状態でもガラスが曇ったり、室内に結露が発生しやすくなりますので、外気導入にしてください
頭寒足熱		希望位置	ON (ECON) または OFF	希望位置 (中間)		<ul style="list-style-type: none"> 温度調整レバーを右または左いっぱいにするとう頭寒足熱にはなりません。冷風または温風のみの吹き出しになります
曇り除去		希望位置	ON	中間より右側		<ul style="list-style-type: none"> 夏期において曇りを除去する場合、①は中間より左側でご使用ください。また、外気温度と吹き出し風の温度差が大きいと窓の外側が曇る場合があります。このときは⑤を「0」にするか、温度調整レバーを右に動かしてください
換気		希望位置	OFF	希望位置		<ul style="list-style-type: none"> 顔部が暑い場合は、温度調整レバーで左に1～2クリック動かしてください



アドバイス

上手にエアコンを使うため

- 停車中の冷房効果を上げるためアイドル回転数が高くなります。i-CVT車はクリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。
駐車中は駐車ブレーキ（i-CVT車はセレクトレバーを[P]）を引いてください。
- 炎天下に駐車したときは、エアコンを使う前にウィンドウガラスを全開にして熱気を逃がしてください。
- 室内においては消臭剤を使って消してください。空気が汚れているときやタバコを吸うときは外気導入で窓を開けて換気してください。ほこりやタバコの煙が冷房装置に付着しておうことがあります。
- 目が痛くなったときは、外気導入にしてください。冷房中に乾燥気味になり、タバコの煙で目が痛くなることがあります。
- 適度に温度を調整してください。冷え過ぎは身体に害があります。健康上、外気温度と室内温度の差は5～6℃が適温です。
- エアコンは各部を潤滑するため月に3回程度作動させてください。
- 冷えない場合には冷媒不足も考えられますのでスバル販売店で点検を受けてください。

オーディオシステム

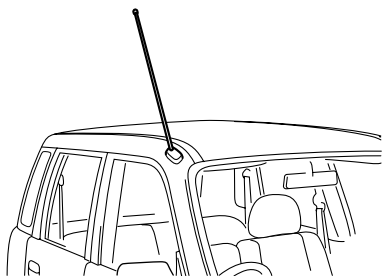
⚠ 注意

安全運転のために

- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞いてください。車外の音が聞こえない状態で運転すると危険です。
- できるだけ車が止まっているときにラジオ・オーディオを操作してください。

アンテナ

ラジオを聞くときはアンテナの先端をいっぱいまで伸ばしてください。



⚠ 注意

自動洗車機や屋根の低いところに入るときは、アンテナを格納してください。伸ばしたままだとアンテナが折れる場合があります。

カセットテープについて

- ヘッド周辺は汚れやすいので1か月に1回程度は、クリーニングテープでクリーニングしてください。
- C120（120分テープ）はテープが非常に薄いため伸びたり、プレーヤーに巻きついたりして使用不能の原因になります。使用しないでください。
- ラベルのはがれたテープを使用したり、テープをデッキに入れたまま放置するのはお止めください。回転不良やテープが取り出せなくなる場合があります。
- プレーヤーにテープが巻き込まれないように、エンピツなどでたるみを取ってから差し込んでください。
- ケースに入れ、日の当たらない場所を選んで保管してください。
カセットテープは高温多湿、直射日光、ほこり、強い磁気を嫌います。

CDについて

- 下図のマークがついている音楽CDを使ってください。下図のマークがないものは使えません。



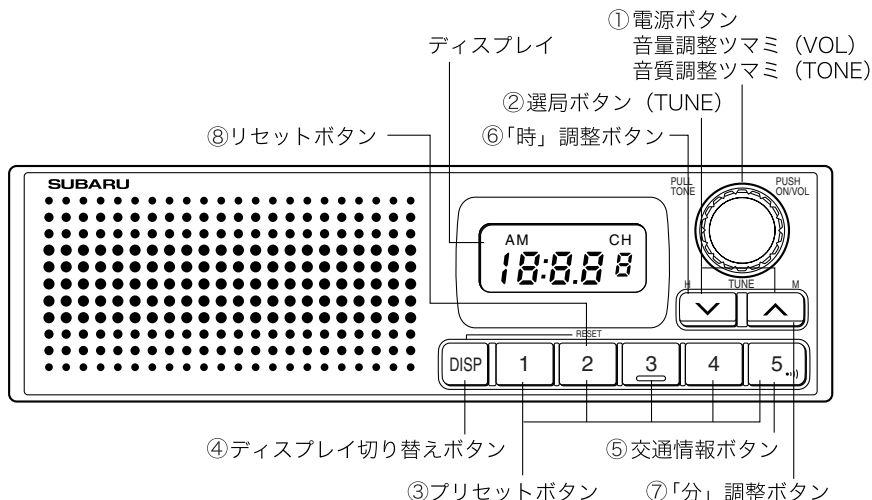
400335

- 大きい傷、変形、ヒビ等のあるディスクやハート型などの特殊形状のCDは使用しないでください。誤作動や故障の原因となる場合があります。
- 寒いときや雨天のときは、プレーヤー内に露が生じ、正常に作動しないことがあります。この場合CDを取り出し、しばらく待ってから再度CDを挿入してください。
- 炎天下に長時間駐車した後などはプレーヤーの温度が高くなり、正常に作動しないことがあります。温度が下がるまでしばらく待ってください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びすることがあります。
- ケースからディスクを取り出す場合、ケース中心部を押し、ディスクの両端を持ってください。また、ディスク面に直接接触すると音が悪くなる場合がありますので、手を触れないようにしてください。
- ディスクは熱に弱いので直射日光の当たる場所やヒーター吹き出し口などの近くに置かないでください。ディスクが変形して使用できなくなります。
- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで傷をつけたりしないでください。

- ディスクはきれいなものをご使用ください。汚れている場合は、乾いた布で中心から外側に向かって拭いてください。硬い布やシンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

AM電子チューナー

ラジオを聞くととき



■電源

①を押すごとに電源がON、OFFします。
(エンジンスイッチがACCまたはONのとき)

■音量調整 (VOL)

①を右に回す：音が大きくなります
①を左に回す：音が小さくなります

■音質調整 (TONE)

①のつまみを引き出して調整します。
右に回す：高音が強くなります
左に回す：高音が弱くなります

■選局 (TUNE)

「自動選局」「手動選局」「ワンタッチ選局」の3つの方法があります。

●自動選局

②のボタンを0.5秒以上押し続けます。
自動的に選局します。
右側を押す：周波数が上がります
左側を押す：周波数が下がります

●手動選局

②のボタンの左右いずれかを軽く触れます。9 kHzごとに周波数が切り替わります。

●ワンタッチ選局

③のボタンのいずれかを押します。あらかじめセットしてある放送局を受信します。AM放送5局が記憶できます。

■放送局の記憶方法

1. 選局します。
2. ディスプレイを周波数表示にします。
3. ③のボタンのいずれかを選び、2秒以上押し続けると記憶されます。
4. 同じように全てのボタンに記憶させます。



アドバイス

バッテリーの端子を外したときやヒューズ切れのときは記憶が消えます。

■交通情報を聞くには

- (③のボタンの#5に交通情報局が記憶されているとき)
- ⑤のボタンを押すと交通情報(1620 kHz)を受信します。



アドバイス

- ⑤のボタンは5つ目のワンタッチ選局ボタンとしても使えます。
- 新車時には1620 kHzが記憶されています。
- バッテリーの端子を外したときやヒューズ切れのときには1620 kHzになります。

■時計を合わせるには

●時・分の調整

- ④のボタンを押しながら⑥のボタンまたは⑦のボタンを押して時・分を調整します。
- ⑥のボタン：「時」の調整
- ⑦のボタン：「分」の調整

●時報に合わせる

- 時報と同時に④のボタンを押しながら⑧のボタンを押します。
- 次のように調整されます。
- 11:30~12:29 →12:00
- 12:30~1:29 →1:00



アドバイス

バッテリーを再び接続したときは、表示が「12:00」で点滅します。正しい時刻に合わせてください。

■ディスプレイ表示の切り替え

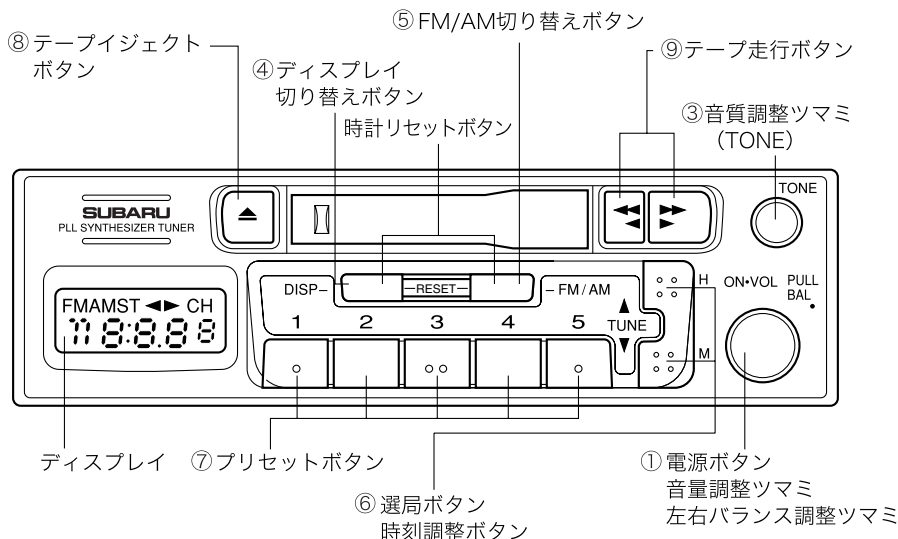
ディスプレイには時刻が表示されています。

- 電源を入れたときや選局ボタンを押すと5秒間周波数が表示されます。
- エンジンスイッチをACCまたはONにすると照明がつきます。

ラジオ電源がONのとき④のボタンを押すごとに時計表示と周波数表示の切り替えができます。

AM/FM電子チューナー・カセットデッキ

共通操作



■電源

①を押すごとに電源がON・OFFします。

■音量調整 (VOL)

①を回して調整します。

右に回す：音が大きくなります

左に回す：音が小さくなります

■左右バランスを調整するとき

①のボタンを引き出して調整します。

右に回す：左側スピーカーの音が小さくなります

左に回す：右側スピーカーの音が小さくなります

■音質調整 (TONE)

③のツマミを回して調整します。

右に回す：高音が強くなります

左に回す：高音が弱くなります

■時計を合わせるには

ラジオ電源ONのとき、④のボタンを押しながら⑥のボタンを押して時・分を調整します。

⑥のボタンのH側を押す：「時」の調整

⑥のボタンのM側を押す：「分」の調整

●時報に合わせる

時報と同時に④のボタンを押しながら

⑤のボタンを押します。

次のように調整されます。

11:30~12:29 →12:00

12:30~1:29 →1:00

📦 アドバイス

バッテリーを再び接続したときは、表示が「12:00」で点滅します。正しい時刻に合わせてください。

■表示の切り替え

ラジオ電源 ON 時④のボタンを押すごとに時計表示優先モードと機能表示モードの切り替えができます。

●機能表示モード

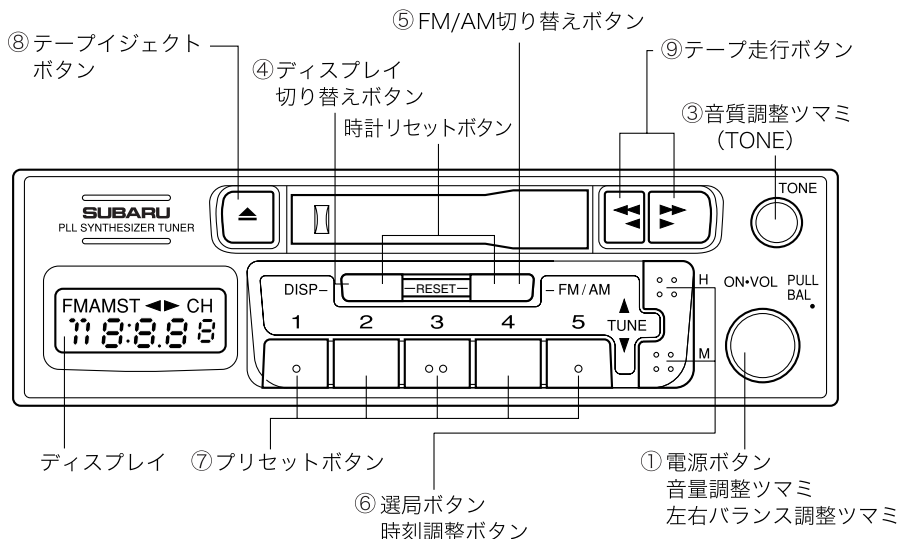
各モードの状態のみ表示するモードです。機能表示モードのとき④のボタンを押すと時計表示になり、以降時計表示優先モードになります。

●時計表示優先モード

各操作を行うと、約5秒間その操作に応じた表示を行い、その後時計表示に戻ります。

モード	表 示	
	機能表示	時計表示優先時
ラジオ電源OFF	消灯	時計表示
ラジオ	周波数表示	時計表示
テープ	TAPE	時計表示

ラジオを聞くとき



■FM/AMを受信するとき

1. 電源を入れます。
2. ⑤のボタンを押します。
ディスプレイにFMまたはAMが表示されます。

■選局 (TUNE)

「自動選局」「手動選局」「ワンタッチ選局」の3つの方法があります。

●自動選局

- ⑥のボタンを0.5秒以上押し続けます。自動的に選局します。
上側を押す：周波数が高くなります
下側を押す：周波数が低くなります

●手動選局

- ⑥のボタンを軽く押します。
一定のピッチで切り替わります。

●ワンタッチ選局

- ⑦のボタンのいずれかを押します。あらかじめセットしてある放送局を受信します。

■放送局の記憶方法

FM放送5局、AM放送5局が記憶できます。

1. 選局します。
2. ディスプレイを周波数表示にします。
3. ⑦のボタンのいずれかを選び、2秒以上押し続けます。記憶されると、ディスプレイにチャンネル番号が表示されます。
4. 同じように全てのボタンに記憶させます。

🏠 アドバイス

バッテリーの端子を外したときやヒューズ切れのときは記憶が消えます。

カセットテープを聞くととき

■テープを聞くには

●再生

エンジンスイッチが ACC または ON のときテープを差し込みます。自動的に電源が入り、再生が始まります。

カセットデッキが作動するとラジオは自動的に切れます。

●再生を止めるには

⑧のボタンを押すと再生が止まり、テープが押し出されます。

テープが押し出されるとカセットデッキの電源は自動的に切れます。ただし、ラジオの電源が ON のときはラジオに自動的に替わります。

●再生方向を切り替えるには

⑨のボタンの両方を同時に押します。

押すごとに再生方向が切り替わります。

●早送り、巻き戻しをするには

⑨のボタンの右側を押すと早送り、左側を押すと巻き戻しになります。

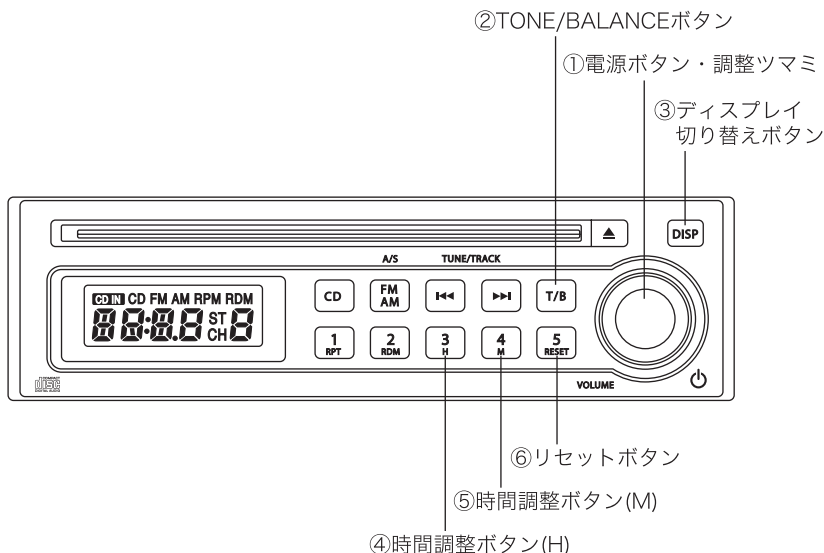
早送り、巻き戻しを止めるときは、反対側を軽く押します。その位置から再生が始まります。

🏠 アドバイス

このラジオには CD/MD プレーヤーが接続できます。(オプション部品) CD/MD プレーヤーに CD/MD を挿入すると再生されます。選曲、その他の操作については、CD/MD プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。音量、音質調整はラジオ本体で調整します。

AM/FMマルチ電子チューナー・CDプレーヤー

共通機能



■電源

エンジンスイッチがACCまたはONのとき
①のボタンを押すと電源が入り、もう一度
押すと切れます。

■音量調整 (VOL)

- ①を右に回す：音が大きくなります
- ①を左に回す：音が小さくなります

■音質調整 (TONE)

②のボタンを押して調整モードを選択し、
①のツマミを回して調整します。

②を押すごとに

BAS (低音) —————> TRE (高音)

↑
VOL (音量調整)

FAD (前後) <————— BAL (左右)

と、切り替わります。

●低音調整 (BAS)

右に回す：低音が強くなります
左に回す：低音が弱くなります

●高音調整 (TRE)

右に回す：高音が強くなります
左に回す：高音が弱くなります

●左右バランス (BAL)

右に回す：左側のスピーカーの音が小
さくなります
左に回す：右側のスピーカーの音が小
さくなります

●前後バランス (FAD)

右に回す：後席のスピーカーの音が小
さくなります
左に回す：前席のスピーカーの音が小
さくなります

■時計合わせ

③のボタンを押しながら④と⑤のボタンを押して時刻を調整します。

④のボタンを押す：時 (H) の調整

⑤のボタンを押す：分 (M) の調整

●時報に合わせる

時報と同時に③のボタンと⑥のボタンを押します。

次のように時計の表示が調整されます。

11:30~12:29 →12:00

12:30~1:29 →1:00



アドバイス

電源が切れて再び接続したときは、表示が「12:00」で点滅します。正しい時刻に合わせてください。

■表示の切り替え

ラジオ電源 ON のとき③のボタンを押すごとに時計表示優先モードと機能表示モードの切り替えができます。

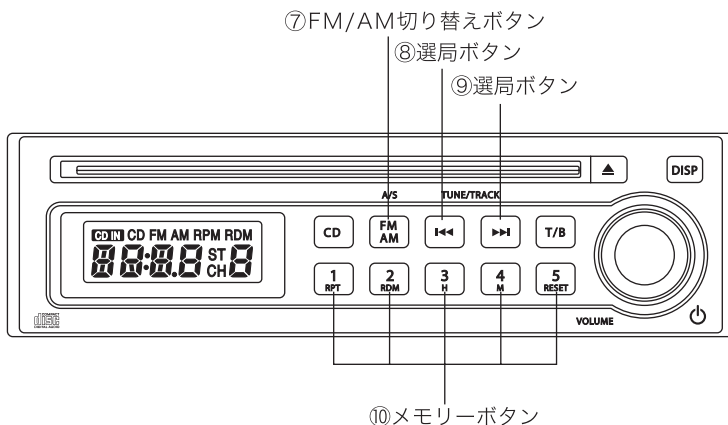
●機能表示モード

各モードの状態のみ表示するモードです。機能表示モードのとき③のボタンを押すと、以降時計表示優先モードになります。

●時計表示優先モード

各操作を行うと、約5秒間その操作に応じた表示を行い、その後時計表示に戻ります。

ラジオを聞くとき



■FM/AMを受信するとき

⑦を押します。

●バンドを切り替えるとき

⑦を押し、バンドを選択します。

⑦を押すごとに

FM⇄AM

と、切り替わり、ディスプレイに表示されます。

■選局 (TUNE)

●自動選局

⑧と⑨のボタンを 0.5 秒以上押します。放送局が見つかると受信を始めます。

⑨を押す：周波数の高い方へ放送局を探します

⑧を押す：周波数の低い方へ放送局を探します

●手動選局

⑧と⑨のボタンを押します。

⑨を押す：周波数の高い方へ 1 ステップずつ切り替わります

⑧を押す：周波数の低い方へ 1 ステップずつ切り替わります

↑ アドバイス

- AM放送はモノラル受信のみです。
- FMステレオ放送受信中は“ST”インジケーターが点灯します。

■放送局の記憶方法

1. ⑦を押し、FM/AMを選択します。

2. メモリーしたい放送局を選局します。

3. ⑩ (メモリーしたい番号を選ぶ) を 2 秒以上押します。

メモリーナンバーがディスプレイに表示されます。

●自動的に放送局を記憶するとき

1. ⑦を押し、FM/AMを選択します。

2. ⑦を 2 秒以上押します。

受信可能な放送局が見つかると、番号 1 から自動的に周波数の低い順に記憶されます。

■メモリーの呼び出し

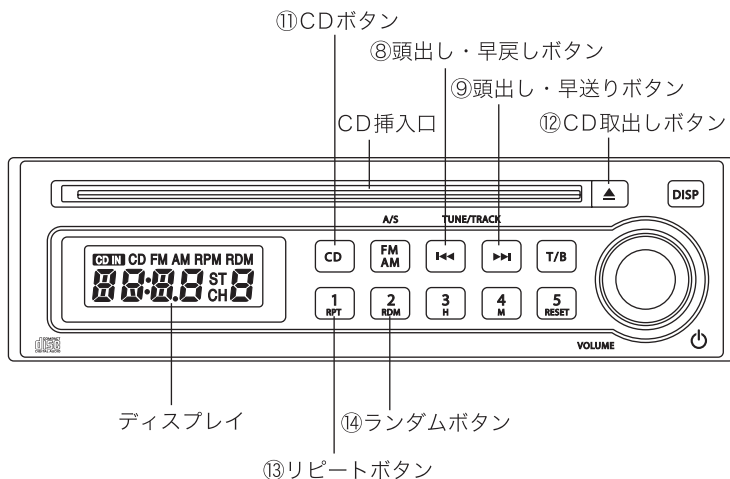
⑩のボタンのいずれかを押します。



アドバイス

バッテリーを交換したときなどはメモリーが消去されます。この場合、再度メモリーしてください。

CDを聞くととき



■ CDを聞くには

● CDが入っていないとき

ディスク中心の穴と端を挟んで持ち、CDのラベル面を上にしてCD挿入口に差し込みます。CDインジケータが点灯し、演奏が始まります。

● CDが入っているとき

⑪のボタンを押すと、演奏が始まります。

🏠 アドバイス

- CD演奏中はトラック No. を表示します。
- 8 cm CDは8 cm CD用アダプターを使用せず、そのまま挿入してください。アダプターを使用すると、ディスクが取り出せないなど損傷の原因となります。

■ 曲の頭出しをするとき

● 先の曲にするとき

⑨のボタンを頭出ししたい曲数分押します。押すごとに先の曲の頭出しをします。

● 手前の曲にするとき

⑧のボタンを頭出ししたい曲数分押します。1回押すと今聞いている曲の先頭になり、押すごとに手前の曲の頭出しをします。

■ CDを取り出す

⑫のボタンを押します。CDがイジェクトされ、前のモードに切り替わります。

🏠 アドバイス

- イジェクト操作は、エンジンスイッチがACCまたは電源がOFFでもできます。
- イジェクト後、ディスクを抜かずに15秒間放置すると、自動的に引き込まれ、ポーズ状態になります。

■曲の早送り、早戻し

●早送り

⑨のボタンを0.5秒以上押します。押している間早送りし、手を放したところから演奏を始めます。

●早戻し

⑧のボタンを0.5秒以上押します。押している間早戻しし、手を放したところから演奏を始めます。

■同じ曲を繰り返し聞くと き (リピートプレイ)

繰り返し聞きたい曲の演奏中に⑬のボタンを押します。

押すと“RPT”インジケーターが点灯します。解除するときは再度押します。



アドバイス

下記の場合、リピートプレイは解除されます。

- 演奏を停止したとき
- ランダムプレイにしたとき
- CD以外のモードにしたとき

■曲を自動的に選ばせて聞くと き (ランダムプレイ)

⑭のボタンを押すと、自動的に曲を選び、演奏を始めます。

押すと“RDM”インジケーターが点灯します。解除するときは再度⑪のボタンを押します。



アドバイス

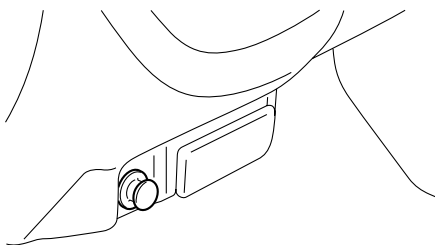
下記の場合、ランダムプレイは解除されます。

- 演奏を停止したとき
- リピートプレイにしたとき
- CD以外のモードにしたとき

室内装備

シガーライター✕

エンジンスイッチがACCまたはONのときシガーライターを押し込みます。手を放し、自動的に戻るまで待ちます。



⚠ 注意

シガーライターとして使うとき

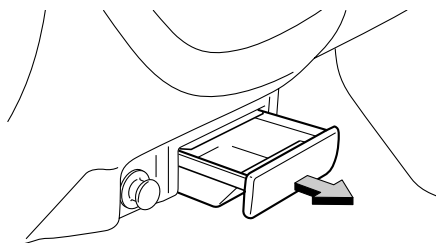
- シガーライターの金属部分に触れないでください。やけどをすることがあります。
- 押さえつけたままにしないでください。シガーライターが過熱して危険です。
- 30秒以上たっても戻らないときは手で引き出してください。
- 他車のシガーライターを使用しないでください。戻らなくなることがあります。
- 銀紙、硬貨などの異物を入れないでください。

ソケットから電源を取るとき

- スバル純正品の使用をお奨めします。
 - タコ足配線はしないでください。発火することがあります。
 - 銀紙、硬貨などの異物を入れないでください。
 - 電源ソケットにプラグが合わない（ガタがあったり、きつくて入らない）場合は、接触不良や抜けなくなる原因となります。ソケットに合ったプラグをご使用ください。
 - エンジン停止状態またはアイドリング状態のまま電気製品を長時間使用すると、バッテリー上がりを起こすことがありますのでご注意ください。
- また、走行中の使用でも不要になったら切るように心がけてください。

灰皿

使うときは手前に引き出します。
外すときは遮熱板を下に押し引き出します。



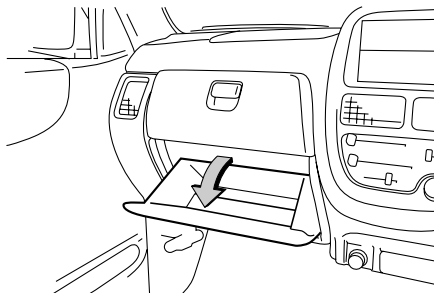
⚠ 注意

灰皿を使うとき

- マッチ、タバコは完全に火を消してから入れ、確実に閉めてください。開けたままにするとタバコの火が他の吸ガラに燃え広がり、周囲をこがすことがあります、さらに火災になることがあります。
- 紙くずなど燃えやすいものを入れないでください。
- 吸ガラをため過ぎないでください。

グローブボックス

小物や書類を入れるのに使います。
取っ手を引いて開けます。



⚠ 注意

走行中は

グローブボックスを必ず閉めてください。万一の場合、開いたフタに体が当たるなどして思わぬけがをすることがあります。

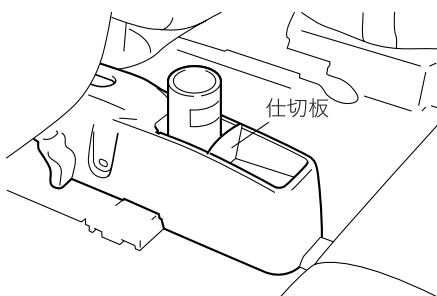
📦 アドバイス

車から離れるときには

車から離れるときには盗難防止のためにも貴重品は持参してください。

カップホルダー

センターコンソールの後方にあります。



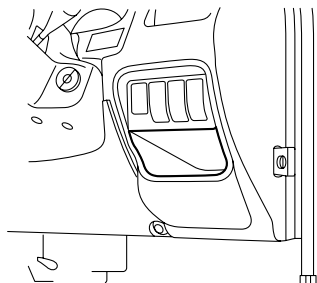
📦 アドバイス

カップホルダー内の仕切板を外すと、物入れとして使えます。

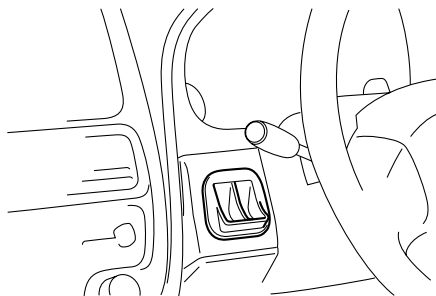
小物入れ

■小物入れ

仕切りの上側にはカードを入れることもできます。

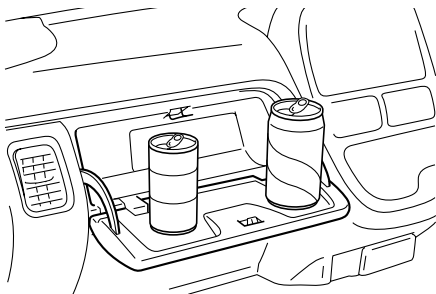


■コイントレイ



インパネマルチボックス

小物などを入れるのに使います。取っ手を引いて開けますとトレイとしても使用できます。



⚠ 注意

取っ手を押しつけて閉めないでください。ロック部の損傷や閉まり不良になることがあります。

⚠ 警告

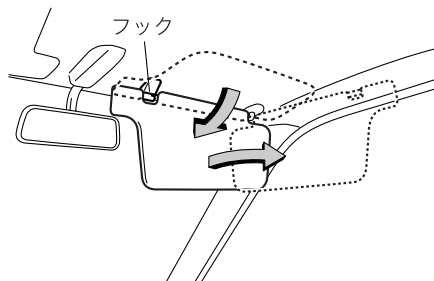
走行中はインパネマルチボックスのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合、開いたフタに体が当たったり、中に入れたものが飛びだして思わぬけがをすることがあります。

また、助手席SRSエアバッグ付車はエアバッグが正常に作動しなくなったり、作動時にフタの上に置いてあるものが飛び、命にかかわるような重大な傷害につながるおそれがあります。

☆2-33ページ参照

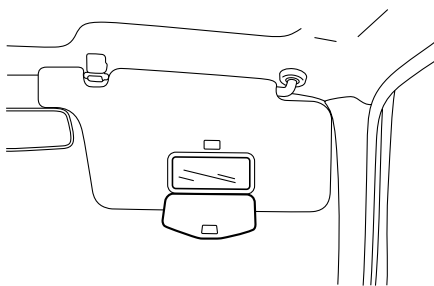
サンバイザー

横に回すときはフックから外して使用します。運転席側にはチケットホルダーがついています。



■バニティミラー

運転席サンバイザーの裏側に鏡がついています。必要のないときは、必ずフタを閉めておいてください。



⚠ 注意

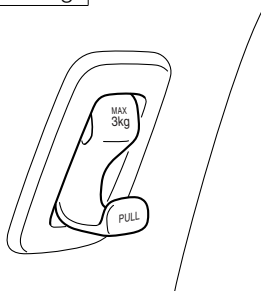
走行中は、必ずフタを閉めてください。

カーゴフック

助手席の背当て背面にフックが装着されています。フックは手前に引いて（PULL部）使用してください。買い物袋などの軽量物の吊り下げ用途に限定してお使いください。

使用後は元に戻してください。

許容荷重：3 kg



アドバイス

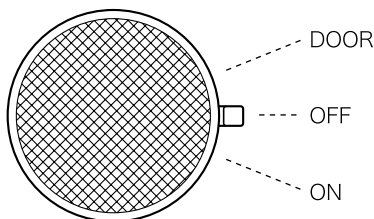
重い物を吊り下げないでください。
フックが折れるおそれがあります。

室内灯

■ルームランプ

レバー位置により切り替えができます。
ON（前に動かす）……常に点灯します。
OFF（中間）……常に消灯します。
DOOR（後に動かす）

…… 運転席ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。
（電波式リモコンドアロック付車は全ドア連動）



🏠 アドバイス

車から離れるときには
消灯していることを確認してください。点灯しているとバッテリー上がり
の原因となります。

点灯したままにしないで
長時間点灯したままにしないでください。バッテリー上がり
の原因になります。

●オフディレイ機能 🏠

DOORの位置のとき、フロントドア、リヤドア、リヤゲートを開けると点灯し、閉めるとしばらく点灯しその後消灯します。

🏠 アドバイス

車から離れるときには
消灯していることを確認してください。点灯しているとバッテリー上がり
の原因となります。
点灯したままにしないで
長時間点灯したままにしないでください。バッテリー上がり
の原因になります。

